



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,835人
男子 3,329人
女子 3,506人
世帯数 2,594戸
(2年6月末現在)

新型コロナの波 竜丘地区にも



駐在所の着工も影響を受ける



乳幼児学級の様子

六月から小学校、中学校も三ヶ月ぶりに再開されて、通学路や校舎にも賑やかな声が響きはじまりました。

今年三月からの新型コロナウィルス感染症予防の影響で、あらゆる活動が中止となっていました。世界各国も未だに収束せず、大傾向にあり、日本も関東圏では第二波の恐れも考えられます。

しかしながら、七月から公民館事業が再開し始めています。乳幼児学級をはじめ、竜丘放課後子ども教室「丘の子 Y.O.U 遊」など学校との連携事業、子どもたちの活動の場から始まっています。今後の活動が少しでも早く元通りの形でできる事を願っています。こんなに待ち遠しいと感じた事は今までなかったのではないのでしょうか？

前代未聞の災害的感染症で、これまで当たり前に行っていた事ができなくなり、自粛ばかりで外出や対面での話し合いも減って交流できないものさしや、寂しさを感じます。六月中旬か

らは、社会全体での経済活動も徐々に再開し始めました。予防対策をしっかりとるうえで、三密を避ける、マスク着用、ソーシャルディスタンス、換気等、集まりの環境整備及び入場の際の体温測定や氏名連絡先など、陽性者が発生した時の対応への配慮も欠かせません。今後も人の集まりに関しては、制限をかけて密集しないようスペース確保を含め、重要なポイントになります。

今年も梅雨の大雨により災害が多発しています。防災の観点からも、避難所の今後のあり方も難しい課題と考えられます。

どうなる？今年の運動会

六月に入り、「今年の運動会をどうするか？」と議論が始まりました。体育スタッフや委員会を開き、分館委員をはじめ、多くの意見が聞かれました。また、感染症の状況や、対策が講じられるか、準備期間が十分取れるかどうか、様々な角度から検討、協議を重ねた結果、体育委員会において今年度は中止といたしました。

運動会は、地区の皆さんが交流、親睦を深める機会として、長年続いており、これからも続けていきたい大切な行事です。

非常に残念で、苦渋の選択ではありますが、地区の皆さんの健康と安全を第一に考え、感染症の収束が未だに見通せない状況での開催は難しいと判断しました。毎年、楽しみにされている方もいらっしゃると思いますが、ご理解の程よろしくお願ひいたします。

（体育委員会）

大森運雄画伯の日本画
「桐林人形」
木下剛夫氏(駄科)より寄贈

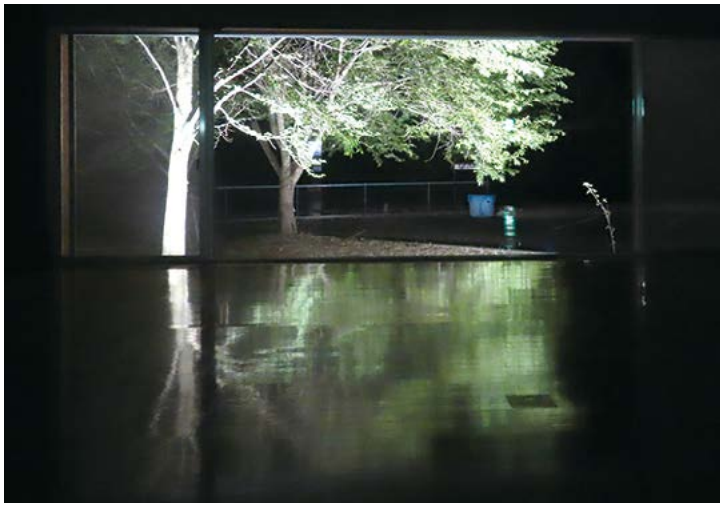


中央が木下剛夫氏



木下剛夫氏(駄科)より、竜丘公民館へ、大森運雄画伯の日本画「桐林人形」が寄贈され、六月二十三日、伊東公民館長より、感謝状が贈られました。

絵は、公民館ロビーの北側の壁に飾られています。自治振興センターにご用の折は、是非、ご覧下さい。



竜丘公民館大ホールステージ裏の板戸を開放し、外の風景が楽しめるようになりました。

ライトアップ始めました



写真で楽しむ
竜丘の初夏



ヤフ友

新型コロナウイルスがまだまだ落ち着かない中、コロナ関連で、全国に配られた二つのモノ。

一つは経済対策として国民一人当たり一律十万円を配る「特別定額給付金」。市町村からの申請書が届くのを待ち、申請して振り込まれるのを待つ。お手元には届いたでしょうか。自分も微力ながら経済回復の一翼を担わねばとばかりに、買いたいもの、思いをめぐらす日々。

もう一つは全国的に発生したマスクの品薄に対する緊急対応策として全世界に二枚配布された、通称「アベノマスク」。

サイズが小さい、品質が云々、他に予算を使った方がいい等々、物議を醸したのは記憶に新しいところ。鳴り物入りのこのマスク、手元に届いた頃には使い捨てマスクも少しは店頭に並ぶようになっていた事も重なってか、使っている人を余り見かけないような？顔を合わせた人に聞いてみたところ、寄付した、ほめて手作りマスクの材料にした、返送した、など受け取った後の用途は様々。

届いたものの、使わないかも。なんて方も多いのかもしれない。

そういう我が家もまだ未使用。ありがたい事に今のところマスクは足りているので次なる用途を思案中。手作りマスクの材料として使ってもうか、どこかに寄付するか。放置は避けたいところ。

賛否両論のマスクではあるけれど、自分で使っても使わなくても元は私たちの大切な税金です。有意義に使いたいものですね。

“数十年に一度”大雨特別警報が発令される



梅雨前線の影響による、六月末から断続的に続く大雨は、当地域では七月八日早朝にピークを迎え、市内全域に「大雨特別警報」が初めて発令されました。

【令和二年七月豪雨 竜丘地区内でも土砂崩れ等発生】
梅雨前線の影響による、六月末から断続的に続く大雨は、当地域では七月八日早朝にピークを迎え、市内全域に「大雨特別警報」が初めて発令されました。



【竜丘地区の被害状況 (七月十二日現在 飯田市発表)】

●床下浸水 三件

●土砂崩れ 二件

●土砂崩れ (上川路、駄科)

●法面崩落 一件

●路肩崩れ 一件

●(桐林)

この長雨は十二日午前中には止んだものの、市内では十二日夜に土砂崩れに巻きこまれた男性が死亡するなど、各地で非常に大きな被害の爪

竜丘保育園 夏祭り

7月9・10日に行われました



竜丘保育園では雨が降り続く中、七月九日と十日に夏祭りをを行い、園舎内には園児たちの元気な声が響き渡りました。



日目は年長さんが企画した出店があり、年長さんの「いらっしやいませ」という元気な声の中、年中さんと年少さんは楽しくゲームができました。

福祉有償移送サービス始まる



福祉健康委員会は、竜丘地区の高齢者や体が不自由な方の移動手段が課題に挙げられたこと、福祉健康委員会が「地域として何かできないか」と検討を重ね、本事業が開始されることになりました。



出発式で鍵の贈呈



昭和40年頃の時又駅

前号の答え
時又駅

時又駅の思い出

投稿していただきました

時又駅は昭和二年(一九二七年)に設置されました。私は昭和三十二年から十五年間ほど通学、通勤で利用しましたので、思い出の深い駅です。



現在の時又駅

みの利用で、一日の乗客は百人強と少なくなっていました。

昔の竜丘 ここはどこでしょう

答えがわかった方は、今の風景を写真に撮って公民館までお寄せ下さい。いただいた作品は次号の答えに使わせていただきます。是非、多くの方の応募をお待ちしております。



②

② ヒント
①昭和20年代の写真
②石柱は今もここにありま
③桑の葉のみどり燃えて♪



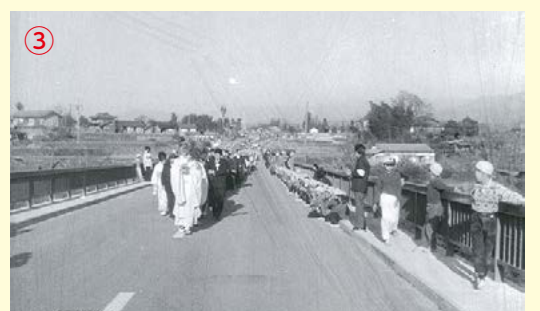
①

① ヒント
①平成11年頃の写真
②石柱は今もここにありま
③1面参照



④

④ ヒント
①前〇〇です
②天竜川が近くに望めます
③色々な会議が行われました



③

③ ヒント
①昭和44年11月23日
②桐林⇔駄科
③開通時は歩道がありませんでした